

みどりの風

令和2年9月1日(火) 発行人: 校長 角田 亮明

緑
の
誓
い

- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強します
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

「進取の気象」：2学期に取り組む3つのこと

2学期がスタートしました。コロナ嵐に負けないよう、教職員一致団結して子ども達をしっかり伸ばしたいと決意を新たにしています。目に見える成果、目に見える成長をお見せできるよう頑張っ^てまいりますので、引き続き、ご支援、ご協力をお願いします。

進取の気象。新しい時代を指向し、**困難を乗り越えて励み、事を成す**という校訓は、まさに、コロナ禍の中を突き進まなければならない今の世にピッタリの指針です。新しいことに先陣を切って取り組み、市内全学校の道標となる。そういう覚悟で2学期の学校経営を進めていきたいと考えています。その具体的実践として3つのことに取り組みます。

1つ目は、子ども達の**「リーディングスキル」を育成**すること。毎年実施される全国学力テストの結果をみると、長崎県全体の正答率が全国平均正答率を上回ることは稀です。つまり、全国的にみて、長崎県の子ども達の学力は平均以下に位置します。その大きな原因として「リーディングスキル不足」がクローズアップされ、長崎県として改善のための取り組みがスタートしました。リーディングスキル＝読解力です。緑丘小では、1学期に長崎県教育センターから読解力向上を中心になって進めているフロントランナーの指導主事をお招きして研修会を開くとともに、研究先進校に担当を派遣して実践ノウハウを学ぶことができました。2学期は、毎日の指導の中で共通実践を重ね、五島市の学校のモデルとなるよう進めていきたいと考えています。読解力向上で学力全般のランクアップを図ります。

2つ目は、**ICT機器を活用した授業を創造**すること。コロナ禍の影響もあり、国の事業として子ども達一人一人にタブレットが配付されます。今年度中に人数分の現物が学校に届く予定です。そこで、機器を活用した授業づくりの準備を進めておく必要が出てきます。子ども達がタブレットを活用しながら学びを深めていく。そういう姿が日常となるように、私達教師がそのためのスキルを高めておかなければなりません。2学期は、教育委員会の指導を仰ぎながら、新しい授業づくりの研修を重ねていきます。その上で、子ども達一人一人の学力を高めていきたいと考えています。授業の様子が大きく変わります。

3つ目は、**新しい学校行事の形を模索**すること。コロナ感染を防止しながら、いかに教育活動を展開していくか。学校に突きつけられている課題です。全てを中止していたら、学びが不完全なまま終わることになります。コロナとともに暮らしながら、内容や方法を工夫して子ども達の学びを保障する。そのためには、どのような形で学校行事を仕組んでいくか模索していくことが大事になります。10月に開催を予定している運動会は、その代表格です。保護者の皆様のご理解、ご協力をいただきながら皆が安心して参加できる形を見つけていきたいと思^います。

9月は残暑が大変厳しいと予測されています。台風も数多く発生するのではないかと心配です。しかし、緑丘小の子ども達は簡単にはくじけません。内に秘めたパワーを引き出すとともに、大人数としての利点を最大限に生かして進んでいきます。みんなの目標はもちろん、緑の誓いを体現していくことです。

